

課題番号8

基本方針：IV		課題名：地域資源を活用した農村の魅力向上	
対象：小長尾ゆず生産組合 長野こんにゃく生産組合 山添豆プロジェクト 郷土料理プロジェクト		計画期間：H29～R1	
		事務所名：東部農林振興事務所	
普及指導事項	活動内容	活動成果（計画当初→R1年度末）	
①組織化支援	組織化検討会開催	法人化・組織化	2団体 → 3団体
②リーダー育成	研修会・商談会への参加誘導	リーダー相当人材の育成	0人 → 6人
③売上高向上への支援	栽培・製造講習会および指導会の開催	売上高	8万円 → 510万円

総合評価（コメント）

A：3名

- 1団体が活動停止に追い込まれた原因がどこにあるのかを問題としてさらなる発展に期待します。
- 最終目標は、農村女性が農産加工などの活動を通じて元気になること。その結果、売上げ向上につながり農村が活性化すると思う。今後も支援活動の充実を願いたい。
- 続くリーダーを育成しており、売上げも出ている。より一層の売上げがあるよう期待する。

B：3名

- 将来展望について、もう少し説明がいただきたいかった。
- 地域の高齢者が中心になり、ボランティア精神の下、郷土料理メニューなど生かし新商品を開発しているが、今後事業を継続していくためには、売上高を増やし、参加者の報酬を増やせなければ、若い世代へ活動が継続できない。
- 地域資源の個性に応じたアプローチがあれば、他の農業者にも参考になると感じた。

普及指導計画への反映状況等

- 地域資源を活かした活動によって、農村を活性化するためには、団体の活動を長く続けていくことが必要ですので、現在の中心メンバーより若い世代が活動を続けていけるためにも、さらなる売上向上を目指し、新商品の開発等の支援にさらに力をいれていきます。